



# いずみの里



清水小宣言 「さわやかなあいさつをかわします」「進んで人のために働きます」「友だちを大切にします」

## 「進んで人のためにはたらきます」

清水小学校は、152年の歴史を持つ学校ですが、校訓がありません。その代わり「清水小宣言」がとても大切にされています。清水小宣言の特徴は、子供から子供へとその精神が受け継がれていることです。4月25日に行なわれた1年生を迎える会でも、児童委員会が工夫を凝らして1年生に清水小宣言を紹介していました。子供たちに「清水小らしさ」を聞くと多くの子供が「教材園」「清水小宣言」と答えます。学校生活の様々な場面で、清水小宣言を意識した取り組みがなされることで、子供自身が「清水小宣言」を目指す姿として心のうちに育てていることを嬉しく感じています。

「清水小宣言」は、「さわやかなあいさつをかわします」「進んで人のためにはたらきます」「友だちを大切にします」の3つの柱で成り立っています。どれも子供たちが社会的な関係性を作るために大切なことばかりですが、本年度は特に「進んで人のために働きます」について子供たちと一緒に考えていきたいです。なぜなら、ここ数年ウェルビーイングの実現と言う考え方が、これからの社会の進む方向として急速に広がっているからです。

ウェルビーイングは次のように意味づけられています。

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

（文部科学省第4期教育振興基本計画より抜粋）

このウェルビーイングの考え方に基づいて、企業も社会貢献を積極的に進めるようになってきていますし、学校でも、自己有用感（誰かのためになっているという実感）が高まることで、自己実現（より良い自分らしさの追求）ができると考えています。子供たちが社会に出る頃には、今以上に、社会に向けて何が発信できるか、何に貢献できるかをしっかりと考えることができる人材が求められるようになります。小学生は、そのための素地を作る時期です。毎日の係活動や、親切の積み重ねと、そこで交わされる「ありがとう」「助かったよ」「お互い様」といった会話を通して、子供たちに「進んで人のために働く」気持ちよさや充実感を育てていきます。

ご家庭でも、お子さんの年齢や気持ちの状態に応じて、お手伝いや地域の行事、ボランティアなどに取り組むことで、ウェルビーイングとの出会いを演出してみてください。



校長 武藤 剛

# いずみの里プランがスタートしました

今年度、清水小学校の学校教育目標「ともにのびる いずみっ子」、重点目標「自りつする」を実現すべく、学校運営の基盤となる【いずみの里プラン】がスタートしています。3年生以上のチーム担任制、2年生以上の教科担任制、40分単位授業による午前5時間授業。それぞれの仕組みがもつ良さや強みを発揮できるよう実践しています。



ここに児童会で作る  
スローガンが入ります

清水小宣言  
さわやかなあいさつをかわします  
進んで人のためにはたります  
友だちを大切にします

教科ごとに先生が替わることは子供たちにとって新鮮なようで、気持ちの切り替えがスムーズにできている子が多いです。また、40分午前5時間授業も、子供たちは非常に集中して取り組むことができます。チーム担任制は現在2ターン目を担当しています。学年チームが全力で多様な子供に寄り添い、さまざまな声に耳を傾け、支援につなげていきます。

令和7年度清水小学校グランドデザイン

保護者の皆様へ

4月の表れとして、進級やクラス替えの喜びからか、必要のない教室間の移動が多く見られました。休み時間は、トイレと給水、次の授業の準備や移動のための時間としていますが、他学年や他教室において、チャイムの鳴る直前に走って教室移動するなど危険な場面もありました。落ち着いた学校生活のためにも、これからも声かけいたします。

